

18日強行採決策動、新・「治安維持法」を許すな!

国会前連続闘争、5.16、5.24日比谷集会に集まろう!

自民・公明・維新の「戦争したい! 9条破壊」三兄弟の修正合意は茶番である。

5月10日から11日かけて自民党・公明党・日本維新の会は共謀罪法案の修正に合意し、5月18日にも衆議院で強行採決を行い、今国会に於いて成立させる予定と報じている。合意した修正点は取り調べの可視化を検討することを付則に明記し、GPS捜査について制度化についても検討するというものである。

この合意がいかにか茶番であるのかは共謀罪が目的とする「時の政府に反対する思想を取り締まりとする」ものであり、すでに戦前の治安維持法が証明しているように多くの思想犯や、戦争に懐疑的な意見を持ったりいったりしたことが犯罪とされ、警察に連行されて長期の拘留・拘束を可能とさせることにある。その過程では拷問が行われ、小林多喜二の例を出すまでもなく、獄死をも引き起こしてきたことにある。いわゆる思想や考え方が犯罪の対象となり、いつでも警察は「しょっ引く」ことを可能とするものである。取り調べ時の可視化以前の逮捕拘留を可能とするものであり、この共謀罪を成立させることによって「権力に逆らうな」とマスコミを牽制し、人々に強要するためのものである。

安倍政権は特定秘密法を強行成立させて知る権利を人々から奪い、集団的自衛権の行使を閣議決定して戦争法を強行成立させた。いま、戦争できる国へ更に一步進めるために共謀罪の成立になりふり構わず突き進もうとしているのである。自民党と日本維新の会が「戦争できる国作り」に向けて同床異夢を重ねて暴走する中で、一時期は平和の党を旗印にしてきた公明党の節度なき凋落は治安維持法の下で厳しい弾圧を受けてきた公明党の歴史を汚すものになる。それまでしても自民・維新と同じ床に入ることを願うというのであろうか。議会多数を背景に日本社会を根底から破壊する方向へ導くのであろうか。

共謀罪成立阻止に向けて労働運動も総力を挙げて闘おう。

共謀罪は労働運動にも牙を剥いて襲いかかろうとしている。すでに様々な事件をデッチ上げて弾圧が行われてきた。争議現場への介入や平和運動への弾圧は枚挙にいとまがない。先の参議院選挙では労組事務所が警察によって隠しカメラで監視されていた。原発反対運動で現地にバスを乗り合わせて参加すると旅行業法違反や白タク行為と言いがかりをつけられ、また、抗議行動は権力の監視にさらされて逮捕や無差別に家宅捜査が強行されてきた。共謀罪が成立すればその餌食とされ、労働者の権利を守る闘いも弾圧の対象となることは明らかである。今こそ、労働運動と市民運動が連帯して闘いを推し進めることこそ必要である。安倍政権の暴走をこれ以上放置してはならない。

今、国会周辺では連日の抗議行動が闘われている。議員会館前座り込みや日比谷野音集会集会などに多くの仲間が参加している。下記の連続取組に多くの仲間の参加をお願いいたします。

共謀罪阻止の当面の闘い（総がかり行動など）

	12時～13時	13時30分～16時	18時30分～
5月13日(土)	全国一斉街頭宣伝		
5月14日(日)	全国一斉街頭宣伝		
5月15日(月)	国会議員会館前集会	座り込み行動	国会議員会館前集会
5月16日(火)	国会議員会館前集会	座り込み行動	日比谷野音集会
5月17日(水)	国会議員会館前集会	座り込み行動	国会議員会館前集会
5月18日(木)	国会議員会館前集会	座り込み行動	国会議員会館前集会 日井連集会(イイノホール)
5月19日(金)	国会議員会館前集会	座り込み行動	国会正門前集会

5月24日(水) 18:30～ 日比谷野音集会・銀座デモ

「労働法制の改悪と共謀罪の創設に反対する連帯集会」

主催：労働運動と市民運動の連帯を指す一日実行委員会

(連絡先：日本労働弁護団) 雇用共同アクション、全労連、全労協など労働組合が参加

協力：戦争させない・9条壊すな総がかり行動実行委員会